

## 《薬局サーベイランスコメント》

『第 11 週のインフルエンザの患者数は約 10 万 6 千人と 7 週間連続して減少、  
学校等の春季休暇によって更に減少することが予想される』

2019 年 3 月 19 日  
済生会中津病院感染管理室  
安井 良則

今シーズン（2018/2019 年シーズン）の 2019 年第 11 週（3 月 11 日～17 日）のインフルエンザの推定患者数は、105,953 と前週の値（146,191）よりも減少し、7 週間連続しての減少となりました（図 1）。また、週明けの月曜日（2019 年 3 月 18 日）の推定患者数は 22,046 と前週の月曜日の値（26,878）を下回っており、インフルエンザの患者数は更に減少していくものと予想されます。

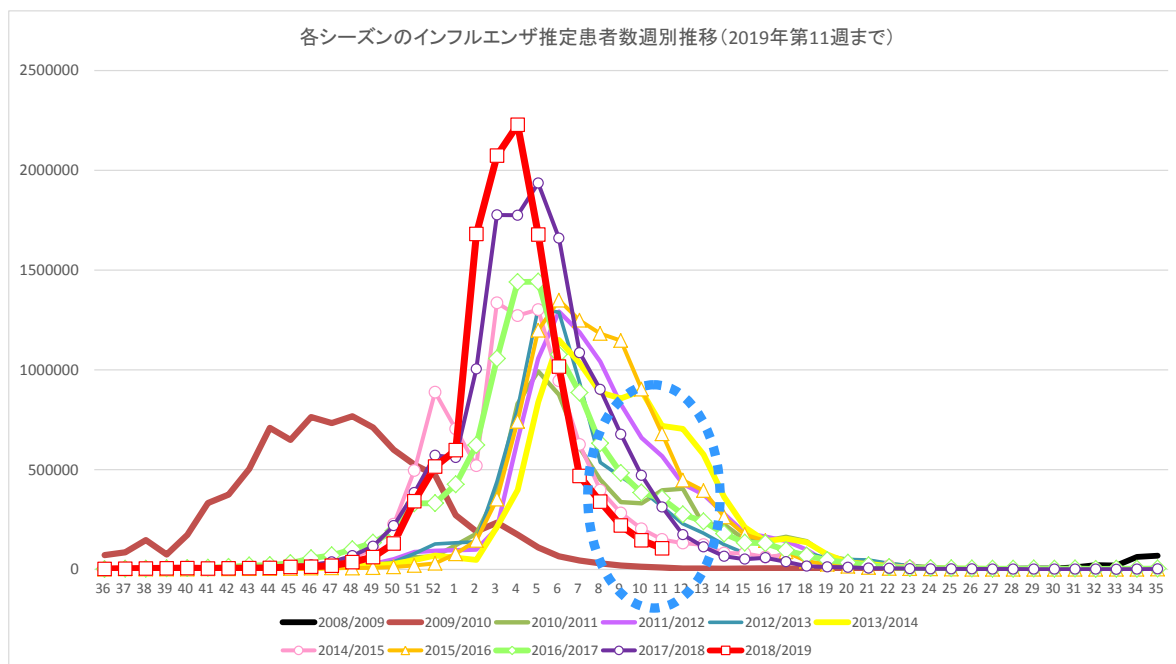


図 1. 過去 10 シーズンと今シーズン（2018/2019 年シーズン）の第 36～第 11 週までのインフルエンザ推定患者数の週別推移（2019 年第 11 週の推定患者数：105,953）

各都道府県別の第 10 週の人口 1 万人当たりの 1 週間の推定受診者数をみると秋田県、福井県、北海道、青森県、山形県の順となっていて、43 都道府県で前週よりも減少がみられました。

2018 年第 36 週から 2018 年第 11 週までの累積の推定患者数は 11,730,282 であり、2018 年 10 月 1 日現在の人口統計を元にした累積罹患率は 9.26%でした。年齢群別で

の累積罹患率は5～9歳（31.00%）、10～14歳（22.75%）、0～4歳（22.06%）、15～19歳（11.99%）、30～39歳（9.76%）、20～29歳（9.08%）、40～49歳（8.55%）、50～59歳（6.96%）の順となっています（図2）。

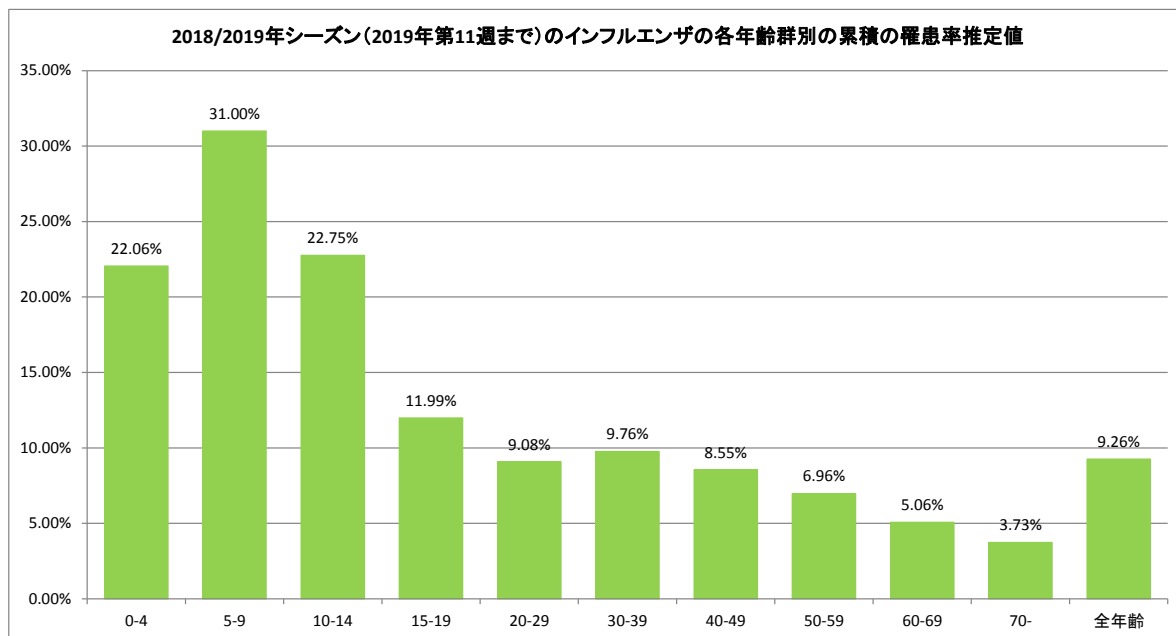


図2. 各年齢群のインフルエンザ累積罹患率の推定値(2018年第36～2019年第11週、累積推定患者数=11,730,282)

国立感染症研究所感染症疫学センターの病原微生物情報 (<https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr.html>) によると、今シーズンこれまでのインフルエンザ患者由来検体から検出されたインフルエンザウイルス(4,717検体解析)の検出割合は、A/H3(A香港)亜型52.5%、A/H1pdmが46.0%、B型1.5%となっています。今シーズンはこれまでのところAH3亜型とA/H1pdmの2種類のA型ウイルスによる混合流行となっています(図3)。

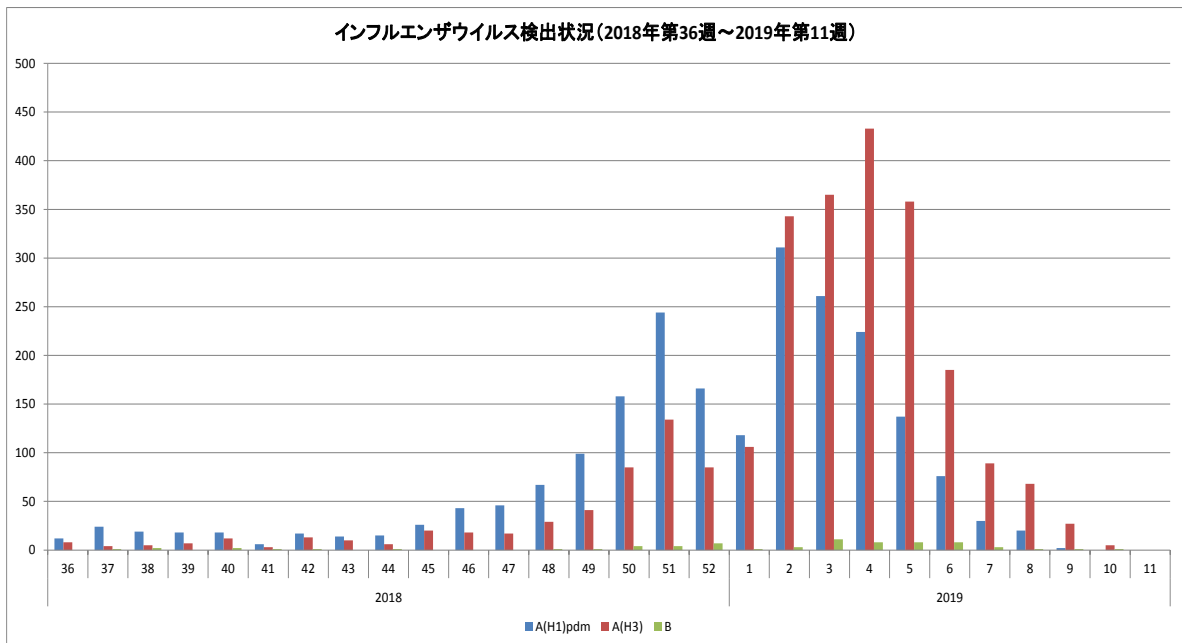


図 3. 国内のインフルエンザウイルスの検出状況の週別推移（2018 年第 36 週～2019 年第 11 週：国立感染症研究所病原微生物情報 <https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr.html> より得られたデータを解析；総検出ウイルス数 4,717）

2019 年第 10 週のインフルエンザの推定患者数は約 10 万 6 千人と 7 週連続して減少がみられました。今後学校等が春季休暇に入ることによって、インフルエンザの患者数は更に減少していくものと予想されます。